

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 7 月 8 日	
所属部局・職	霊長類研究所・修士課程学生
氏名	川口ゆり

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)
日本モンキーセンター
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)
動物園・博物館実習
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)
平成 26 年 6 月 25 日 ~ 平成 26 年 6 月 28 日 (4 日間)
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
日本モンキーセンター
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
6 月 25 日からの 4 日間、日本モンキーセンターで動物園・博物館実習に参加したため、以下に報告する。 日程 25 日午後：園長からのレクチャー、園内ツアー 26 日午前：園内ツアー、来園者観察 午後：モンキーサロン見学と科学コミュニケーション実習 27 日午前：獣医見学 午後：展示学レクチャー、標本実習 28 日午前：飼育実習 午後：霊長類基礎セミナー
・ 25 日 バックヤードを見学したのが印象的であった。以前、カニクイザルが展示されていたスペースは他の展示エリアに比べても広く、ある程度の起伏がありながら観察しやすさも保たれた良い場所に思えた。しかし、カニクイザルが特定外来生物に指定されたため、そのような天井のない場所に展示できなくなり、現在は使われていないらしい。私が考えの及んでいない問題があるのかもしれないが、飼育設備の改善にあたっての経済的な問題が大きいときいたので、現在すでにあるよい飼育設備を有効に使えばよいのにと感じた。
・ 26 日 来園者観察が面白かった。私は、フサオマキザルの展示の前に立ち、来園者の滞在時間と会話を調べたが、訪れたのは 25 組、平均滞在時間は 28 秒であった。通り過ぎてしまう人も多いのでは、と思っていたが予想以上に滞在時間が長かった。長くどまる人の中には、片腕がない個体に言及する来園者もいたが、多くは外見の特徴や個体数の多さに関するものであり、一見してわかるようなことに対しての会話がほとんどであった。そのため、午後の科学コミュニケーション実習では、フサオマキザル特有の行動やオトナとコドモの外見の違いなどについてお話できればと思ったが、あまりうまく伝えることができなかった。しかし、大淵先生のいかに一般の方に効果的に伝えるか、に関しての講義は面白く、なるほどと思うことが多かった。次の機会があれば、再挑戦してもう少しうまくコミュニケーションが取れればと思う。
・ 27 日 獣医の医療現場を見せて頂く機会は貴重で興味深かった。その日はカニクイザルの抜糸、マンドリルの避妊インプラント、ワオキツネザルの抜糸であった。どのケースも非常に手際よくあっという間に処置がすすめられ、驚いた。展示学レクチャーでは、世界の動物園の在り方の推移を学んだ。これまで簡単にはその移り変わりを理解していたつもりであったが、体系立てて詳しく話を聞くことができたので大変勉強になり、面白かった。標本実習も、標本をつくる作業を見学するだけでなく、実際に骨を並べる経験ができたので、骨の付き方を体感することができたのが良かった。
<平成 26 年 5 月 28 日制定版> 提出先： <a href="mailto:report@wildlife-science.org">report@wildlife-science.org</a>

## 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

・ 28 日

飼育実習ではWaoランドを担当した。対象種はワオキツネザル、ブラウンキツネザル、クロキツネザル、エリマキキツネザルであった。飼育施設の清掃及び、給餌を行った。ワオキツネザルの顔は初心者には一見かなり区別が付きにくい。しかし、Waoランド mini には6個体のワオキツネザルがいるが、説明していただき、しばらく見ているうちに6個体の識別ができるようになったのが楽しかった。



綿貫キュレーターに園内を案内していただく



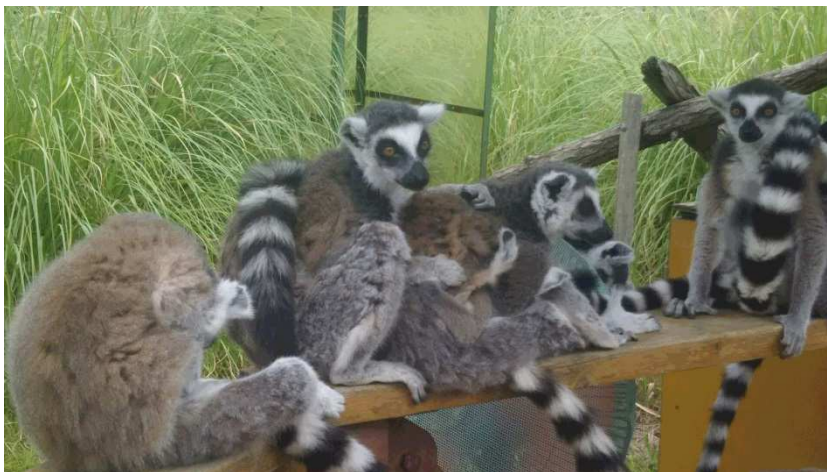
チンパンジーの胎児の標本のプラスティネーション



ワオキツネザルの抜糸



喉元に傷を負っている



飼育実習の担当はワオキツネザルであった

### ・ 6. その他 (特記事項など)

実習に携わっていただいた皆様、ありがとうございました。また本実習への参加は PWS の支援を受けて行いました。ここにお礼申し上げます。